

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立内部中学校

校長 丹羽 伸也

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ①地域とともにある学校を目指し、保護者や地域の方々と協働しながら学校づくりをしていくために運営協議会を設置いたしました。地域の方々の主体的な参画及び支援をいただくとともに、地域の教育力を学校運営や教育活動に活かしていきます。
- ②学校関係者評価をさらに充実させ、学校づくりビジョンの実現及びそれに向けた教育活動の改善に努め、保護者や地域の方々の意見や願いを反映した学校づくりを推進していきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

今年度は5回の運営協議会を開催し、内1回は2校と合同で開催いたしました。本校は地域との関わりが大変深く、地域の行事として根差している活動が多数あります。ただ、今年度もコロナ禍の現状を踏まえ、無理のないように地域と学校が互いに連携し、地域子どもたちを育成するため、開催可能な活動を中心に行っていました。



◎子どもたちの安全・安心を守る学習環境の整備



本年度は、地域の方や保護者の方と作業をする場面は、一部になりました。例年は、内部川保全等、地域のために一丸となって活動しています。

- ・采女城址通学路除草作業（6月のみ）
- ・内部川清掃・アレチウリ駆除（中止）
- ・はげまし隊除草・剪定作業（剪定作業のみ）
- ・PTA 校内除草作業（中止）
- ・スズメバチの駆除作業 等

◎地域や保護者とともに協働した活動・地域との交流

「あったか訪問」として、地域の高齢者にお弁当にプレゼントを添えて配付する活動を行いました。また、「うつべっ子コンサート」として、吹奏楽部の演奏を録画し、各保・幼・小学校に配布しました。この演奏会は地域に根差した活動である同時に、小学生にとっての身近な「生き方モデル」となっています。

- ・うつべっ子コンサート（録画）
- ・あったか訪問（プレゼント配付のみ）





◎夢と志を持ち、未来を切り拓くための活動

志講演を実施しました。目的は、将来に見通しを持ち、学ぶことへの目的意識を持たせることです。生徒一人一人が自身のキャリアについて具体的に考えられるように、様々なキャリア教育の取組を推進しています。

- ・「志」講演
- ・プレ授業(本年度は見学のみ)※小6対象
- ・職業講話
- ・「志」授業

◎子どもたちの人権や安全を見守る活動

人権フォーラムでは各小中学校と講演者をリモートで繋いで、開催しました。また、今年ではできませんでした。例年は地区の防災訓練に中学生も参加し、地域安全への参画意識を高めています。

- ・内部地区総合防災訓練（不参加）
- ・子ども人権フォーラム（リモート）



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で休校になったり、行事等を縮小したり、中止したりと大変でしたが、委員の皆様には様々なことをご相談し、ご意見・ご助言をいただいた結果、スムーズに学校運営をすすめることができました。例を挙げますと、休日の部活動の連絡方法に関して、地域の意見をお聞かせいただき、メーリングリストを利用する手段で解決することができました。体育祭や文化祭では、委員の方々にご覧いただき、お褒めの言葉や様々な意見をいただきました。来年度以降の行事に反映していきたいと思っております。また、学校のホームページの更新が増え、それをご覧になっていた保護者・子どもたち、地域の方から温かいお声がけをいただきました。その結果、アクセス数が、今月の間に10万に届くところまでとなり、本校に対する関心の表れや期待を感じることができました。その他にもたくさんの行事を通して、地域の皆様から多くのご支援・ご協力をいただいていたことを感じた1年でした。



3 今後に向けて

まだまだコロナ禍で、先を見通しにくい状況の中、次年度も今年度のようにコミュニティスクール運営協議会委員の方々のお知恵や力をお借りし、乗り越えていきたいと考えています。そして、地域のために貢献できる活動をカリキュラムや年間計画の見直しを図りつつ、安全に計画的に進めていきます。さらに学校としてもコミュニティスクールとしても内部小、内部東小とともにこれまで以上に地域と連携した取り組みを進めていくことで、地域の一員としての意識を高め、本校ならではの地域と協働した取り組みを行っていきます。

最後に、夢と志を持った子どもたちを育てるために、今後も学校や教職員・子どもたちが地域に貢献できる機会をより充実させ、地域とともにある学校づくりを進めていきます。